

平成30年度一般会計当初予算のポイント

未来を見据えて展開する魅力的なまちづくり予算 463億9,000万円 (前年度当初予算比 Δ17億3,500万円、Δ3.6%)

【減の主な要因】
大崎中学校区小中一体校建設事業や旭・裏館統合保育所建設事業等の減

これまでの取組
「6つの重点政策」
「5つの徹底と3つの基盤」
「3つの処方箋」
客観的な成果

要介護認定率 10年間で **0.5pt** 減少
⇒平成20年度まで県内で最も高かった介護保険料が県内有数の低い金額に

平成27年と平成22年の人口増減率の比較
19歳の減少率 **8.7pt** 改善
24歳の増加率 **7.2pt** 改善
若年層の人口動態の改善！

ほか
長期的な視点に立って健全な財政を確保しつつ、
基盤整備とソフト事業を連携させながら、
3つの処方箋を柱に更に推進！

H30 予算
このまちの基礎体力を向上させる!!!

継続中又は今後想定している主なプロジェクト
長期ビジョン

- 教育・子育て政策の更なる展開 40.2億円
- 「ものづくりのまち」の更なる深化 24.6億円
- 健幸都市への更なる挑戦 113.1億円
- 安全・安心な暮らしへの更なる追求 29.0億円
- 全ての人々の尊厳の確保 3.9億円

- 大崎学園の開校
- 未満児保育の拡充（裏館保育所の開所）
- ジャパン・ハウス ロンドンへの出展
- デマンド交通の全日運行
- 西本成寺一丁目地内水対策、大面川氾濫対策
- （仮称）地域連携センターの整備 ほか

人を去らせず、来たる人を追い求め、歓迎する!!!

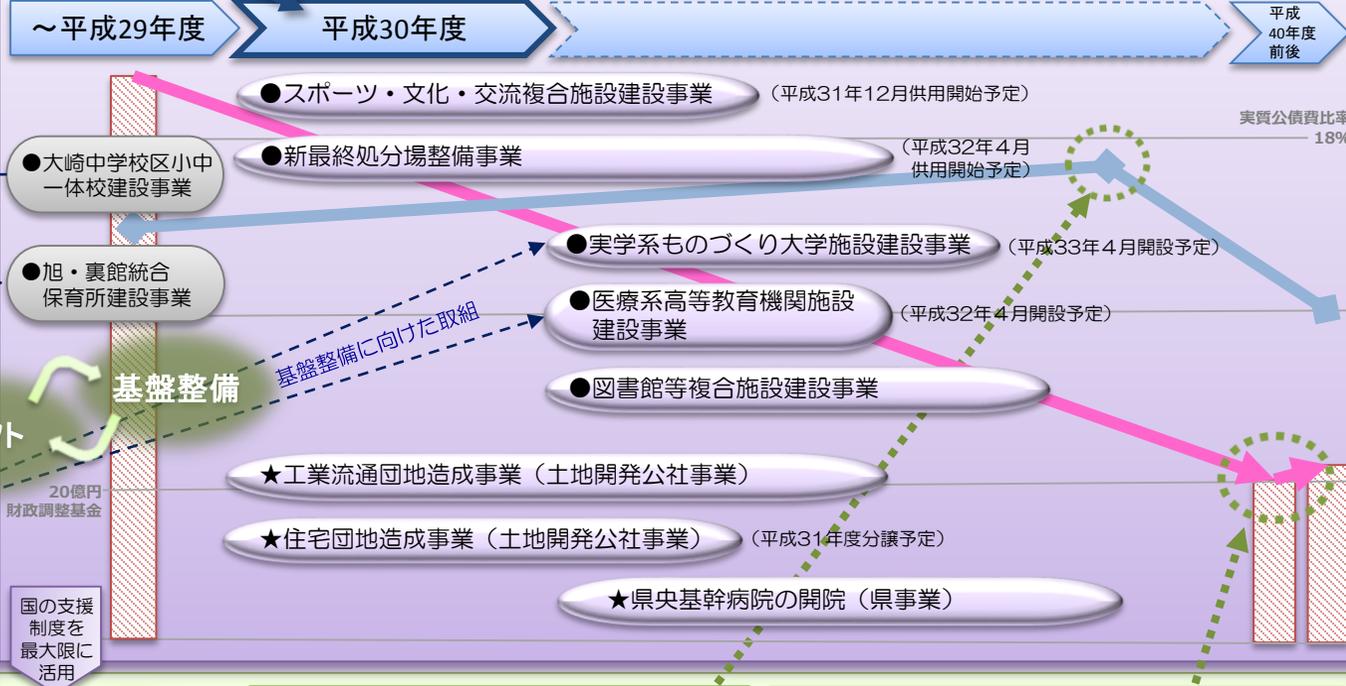
- 若年層の転出抑制、自然動態改善への挑戦 2.2億円
- 若年層の転入促進 1.6億円

- 実学系ものづくり大学、医療系高等教育機関の設置準備、実施設計
- 「（仮称）三条ファンクラブ」の創設
- 放課後の安全な子どもの居場所の確保 ほか

人口減少社会、少子高齢化社会と共存する道を歩む!!!

- 「高齢者」概念の転換 0.2億円
- 「社会インフラ」概念の転換 42.1億円
- 「一極集中」思考の転換 1.8億円

- 有償ボランティアの生活支援に対する活動への拡大
 - かわまち交流拠点施設の活用
 - 下田郷の豊かな自然を活かしたスポーツの推進 ほか
- (※事業費には一部特別会計を含みます)



健全財政の堅持

実質公債費比率
ピークとなる平成35年度前後においても
18%未満を維持

財政調整基金残高
減少のピークとなる平成40年度前後においても
20億円程度を維持

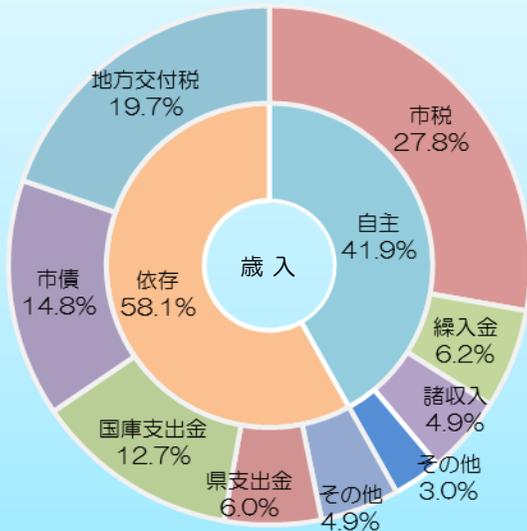
魅力的なまち
豊かな自然に恵まれた 歴史と文化の息づく 創意にみちたものづくりのまち

財政指標と予算構成比

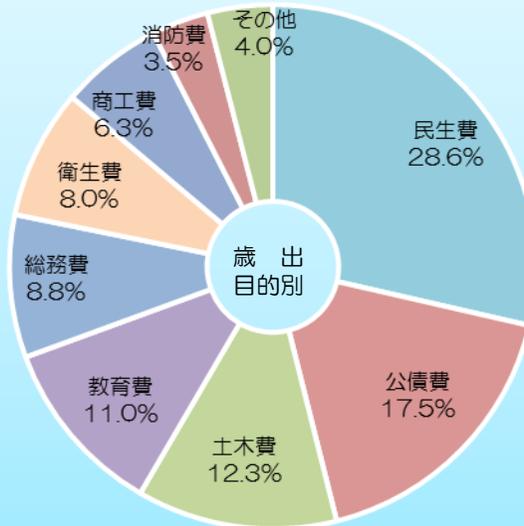
財政指標						
	H25	H26	H27	H28	H29(決算見込)	H30(決算見込)
経常収支比率	93.1%	93.4%	92.8%	95.6%	95.8%	↑ 96.1%
実質公債費比率	14.4%	14.4%	14.4%	14.6%	15.0%	↑ 15.3%
財政調整基金残高	56.0億円	59.1億円	73.1億円	73.5億円	63.2億円	↓ 37.8億円※

※H30（決算見込）の財政調整基金残高は、H29（決算見込）からH30当初予算に計上した繰入額を差し引いたもの

歳入予算構成比



歳出予算構成比（目的別）



歳出予算構成比（性質別）

